

## 本格木造住宅の拡大めざして

# 沖縄の家通信

第2号/2020年11月27日

沖縄の家事業グループ  
〒901-0241 豊見城市字豊見城 559-3  
(株)丸伸土木工業内  
電話 098-987-4165 (FAX 兼用)  
e-mail : okihouse@ace.ocn.ne.jp

### ■ 沖縄「森林の家」の名称で 本格木造住宅の普及をめざす ——事業グループを一般社団法人に 連絡事務所も開設しました

新型コロナ禍、感染拡大防止に腐心しながらのお仕事、暮らしかと思います。

「沖縄の家」事業グループは、これまで「沖縄の家」構想の具体化へ、「沖縄・国際物流拠点形成研究会」とともに県内外の住宅建築関係者の協力のもと活動を重ね、「列柱壁」の研究開発に取り組む、工法を確立、協力企業内に「連絡事務所」を設置し、近く、一般社団法人（一般社団法人沖縄の家事業グループ）に移行します。

本事業グループは、木造住宅の良さや、林業の課題等の啓発活動と併せて、沖縄「森林の家」の名称で、ふんだんに木を使った快適で、地震・強風・シロアリに強く、永く住める本格木造住宅を建築、普及に努めて参ります。

### ■ 「列柱壁」の耐震・耐強風を実証 公的機関で「壁」の耐力試験を実施 ——名付けて「琉球の壁」——

「沖縄の家」で採用する「列柱壁」は、厚材2枚を重ねた柱を、複数本合わせた「壁面体構造」で、在来軸組工法を土台とした木造住宅の画期的工法となります。さる7月、宮崎県木材利用技術センター（宮崎県都城市）で、「列柱壁」の試験体の耐力試験を実施。耐震・耐強風の壁の耐力を示す「壁倍率」は好結果を示し、「列柱壁」は想定通りの強さを実証し、壁を「琉球の壁」と名付けました。

基本型の試験体の全体写真 荷重を掛けた結果の全体写真



【写真説明】左が「列柱壁」の基本型。右は最大の荷重をかけたときのものです。傾いてもバラけることもなく、柱が抜ける懸念も払拭されました。

ただ「列柱壁」は構造壁ではないので当面は構造壁の筋交を補強する部材となります（「列柱壁」自体を、構造壁とするための研究を今後、

続けていきます）。「琉球の壁」（列柱壁）を採用し、木をふんだんに使った本格木造住宅の施工性を確認しつつ、建築受注に入っています。

### ■ 事務所に「琉球の壁」の「見本」を展示 ——「見本」の見学をお待ちしています。

「琉球の壁」（列柱壁）の「見本」体（縮小型）を、協力工務店に製作していただき、連絡事務所に展示しています。すでに見学にお見えになっていますが、見学の申し出があれば、対応して「壁」の説明を致します。窓口の本事業グループの世話人（下記）までご連絡下さい。



#### 【写真説明】

左が内側（部屋の中）で、表面は、柔らかく、白と赤みのコントラストのある木表（きおもて）の特徴（美しさ）を生かします。右が外側（外壁側）で、構造上、筋交を入れ、列柱壁はその補強部材となります。

【ご案内】見学をご希望の方は、本事業グループの世話人・下道直紀（しもみち・なおき／☎090-7980-0850）までご連絡ください。事務所の（株）丸伸土木工業のご都合と合わせて、日程を調整させていただきます。

### ■ 沖縄の国際物流拠点形成へ ——木材の移出入で海運の「荷」を増やす

- ❖ 「沖縄の家」構想はそもそも海運（海上輸送）の「荷」を増やそうという問題意識からスタート。
- ❖ 沖縄「森林の家」は普通の木造住宅の2倍の木材量を使用し、海上輸送の荷の増大に寄与、本格木造住宅造りと国際物流の活性化をリンクさせる取組みを進めることとなります。
- ❖ 近く、木造住宅啓発の第4回講演会を企画し、あらためてご案内致します。

